

KOKORO

No. 43
2026

2025年 主要5大会制覇!

THCU女子バスケットボール部 これまでの歩み

東京医療保健大学女子バスケットボール部は、2006年、恩塚亨監督のもとに創部されました。創部当初は関東大学リーグ下位カテゴリーからのスタートでしたが、競技力の向上と組織的なチームづくりを重ね、関東、そして全国の舞台へと着実に歩みを進めてきました。

2017年には関東大学女子バスケットボールリーグ戦で初優勝を果たし、同年の全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)において全国初制覇を達成しました。その後も着実に成績を残し、2017年から2022年にかけてはインカレ6連覇という実績を築いています。

恩塚監督は、本学での指導と並行して日本代表チームの指導にも携わり、2021年にはバスケットボール女子日本代表ヘッドコーチに就任しました。2024年10月には、本学女子バスケットボール部監督として再び指揮を執っています。

2025年には、「第59回関東大学女子バスケットボール選手権大会」「第15回関東大学女子バスケットボール新人戦」「第3回全日本大学バスケットボール新人戦(新人インカレ)」「第75回関東大学女子バスケットボールリーグ戦」「第77回全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)」の学生主要5大会すべてで優勝を果たしました。さらに、「第92回皇后杯ファイナルラウンド」に出場し、大学チームとして国内最高峰の大会にも挑戦しています。

創部20周年という節目を迎え、本学ではこのバスケットボー

ル部での成功体験を教育へと還元する新たな取り組みを始動しました。2026年度からの医療保健学部改組において、将来のスポーツ分野の専攻設置を見据え、「スポーツ科学副専攻」を設置。競技の知見を学術的に体系化し、次代のスポーツ界を担う人材育成を本格化させています。あわせて、運営体制のさらなる強化も図りました。監督・コーチといった「競技面からチームを統括するスタッフ」と、部長・GMなどの「学修面から活動を支援する常勤教職員」をそれぞれ配置。競技成績のみならず、学生の本分である学業との両立を組織的に支える体制を整えました。これら20年にわたる実績と新たな挑戦は、本学における競技スポーツの発展と、学生一人ひとりの努力、そして進化し続ける大学の姿勢を示すものです。



第77回全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)優勝時の集合写真

・あゆみ・

- 2006年 東京医療保健大学女子バスケットボール部 創部
- 2009年 大学3部リーグ優勝、2部リーグへ昇格
- 2012年 大学2部リーグ優勝
- 全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)初出場
- 2013年 大学1部リーグへ昇格
- 2015年 関東大学女子バスケットボール選手権大会 初優勝

- 2017年 関東大学女子バスケットボールリーグ戦 初優勝
- 全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)初優勝
- 2017~2022年 全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)6連覇
- 2021年 恩塚亨監督が女子日本代表ヘッドコーチに就任
- 2024年 恩塚亨監督が東京医療保健大学女子バスケットボール部の監督に復帰
- 2025年 学生主要5大会制覇

東京医療保健大学 公式SNS紹介



開学20周年記念号

01 Special Talk 理事長×学長

05 KOKORO オリジナルキャラクター発表!

07 同窓会の歩みと展望

09 開学20周年に寄せて—後援会・校友会—

10 ご寄附のお願い

田村 聡明 理事長 × 亀山 周二 学長

教育環境の多様性が拓く、東京医療保健大学の未来。

東京医療保健大学の根幹を支えてきたものは、最先端の病院と連携した教育と、コアバリューに基づくリベラルアーツ。

“看護師といえば、東京医療保健大学”という大きな志を掲げ、量から質への転換を進めながら、人として生き抜く力を身につけられる大学として歩み続けます。



学校法人青葉学園
東京医療保健大学
理事長
田村 聡明

療センターをはじめとする高度な医療機関との連携によって、専門医療から地域包括ケアまで身につけられる幅広い教育環境が整っています。

田村理事長 ええ。恩恵はそれだけにとどまらず、病院の先生方がすぐに来てくださり、現場のリアルな話をしてもらえるとこの利点もあります。それを教育に活かしていけるんですね。また、現場の経験が豊富な先生方を、大学に多く迎えていることも強みです。

亀山学長 医療の進歩の中で、主流になっているのが体への負担が少ない低侵襲な治療です。治療後、患者さんにできるだけ早く日常生活を取り戻していただくために、看護師やセラピストが早期から栄養やリハビリに関わることが重要になってきます。私達の教育は、単に知識を与えるだけでなく、大きく変化するチーム医療のプロセスに学生が対応できるよう、高度な現場との連携を通じて、方法論やプロセスそのものを習得できるようになっています。

田村理事長 また、複数のキャンパスにある看護学科も特徴的ですよ。互いにライバルとして存在し、魅力を出し合うことで、大学全体の内的な改善に繋がっているという側面もあります。例えば、立川は災害医療に強く、和歌山は地域包括ケアと総合的なケアに強みを持つなど、それぞれには独自性があります。先生方が現状をより良くするにはどうすればいいかを考え、さらに各キャンパスの特徴を生かした内発的な競争、それに最先端病院との連携が、大学の力に繋がっていると感じています。

亀山学長 理事長がおっしゃる通り、内的な改善が重要ですし、量より質で勝負しなくてはならないと思います。5つの看護学科が、ただ地域が異なるだけで同じカリキュラムを提供しては不十分です。それぞれの学科が、自分たちの特色を明確にする。その結果、一つひとつのキャンパスが素晴らしい実力と存在価値を持ち、そして高いレベルで

進化と成長の20年を振り返って。

田村理事長 開学20周年を迎え、大学を取り巻く環境、特に社会の変化のスピードがとても早くなっていると感じています。看護師養成のニーズの高まりに応じて看護学部が増設された結果、一大学としては看護師の養成人数が非常に多い大学へと成長することができました。しかし、最近は少子高齢化の影響を受け、昔と同じことをやっているのはダメだという結論に至っています。

亀山学長 私自身は大学が設立された当初、五反田キャンパスに隣接するNTT東日本関東病院に勤めていて、その頃から主に看護の1年生に対して医学的な基礎教育の授業を担当していました。連続的に見ていると変化には気づきにくいのですが、総じて見ると、今の学生は勉強に取り組む姿勢がかなり積極的になったように感じますね。

田村理事長 私達は、大学の展開を2007年頃にスタートさせました。短大から大学へ改組転換するとともに、新しい医療保健分野に人材養成の軸を移したのです。当初は看護、医療栄養、医療情報の3つの学科を立ち上げましたが、その後、医療の高度化や看護師の役割の変化に伴い、看護学科・学部の増設を進めてきたという歴史があります。この20年で学生の考え方、技術の進歩、生活スタイルも変わってきています。それに応じて、私達も変化に対応していく必要があります。これからの東京医療保健大学をどのように進めていこうかという、ちょうど次のスタート地点に立っていると感じています。

東京医療保健大学が誇る、揺るぎない強み。

亀山学長 今の学生はZ世代と呼ばれていま

すが、教材についてもICTの利用やスマホでのチェックなどが常識になっています。その気質自体も、数年の間に大幅に変わったのは間違いありません。教育も、産業界も、世界の価値観すら変わりつつある中で、今後、学生が社会に出ていくにあたり、社会の変革したニーズに十分適応できる力を育成していく必要がありますね。

田村理事長 そうですね。私達の強みは、日本最先端の病院とのパートナーシップに尽きます。ご協力いただく病院については、最高レベルのところと組むことにこだわってきました。最先端の現場こそが、一番の学びの場です。病院の隣にキャンパスを設けているのは、現場の今を見て学生たちが疑問を抱き、次の学びに活かしていくという連携こそが、教育の質的向上に繋がっているためです。

亀山学長 医学や医療はすごい勢いで進歩しており、知識が増大し、手術室ではロボット支援やデジタル化が進んでいます。当然ながら、病院における看護にも大きく影響しているのは間違いありません。そうした最先端の医療に触れ、学べるのが本学の強みです。NTT東日本関東病院、国立病院機構東京医療センター、同災害医療センター、JCHO船橋中央病院、そして日本赤十字社和歌山医



学校法人青葉学園
東京医療保健大学
学長
亀山 周二

パーパス

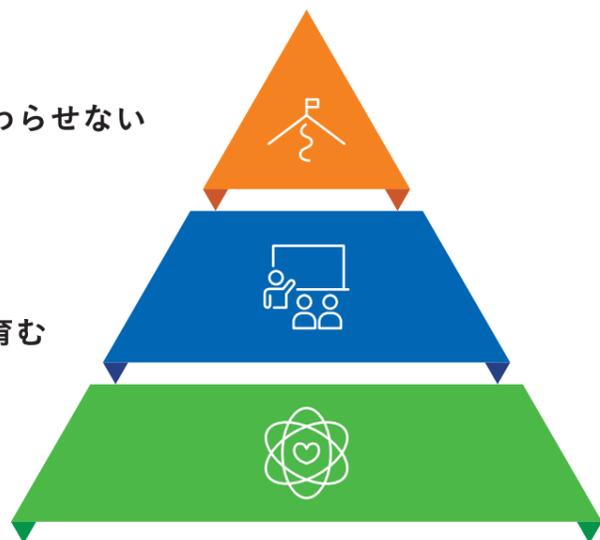
「医療職」だけで終わらせない
学びを提供する

教育方針

人として
生き抜くチカラを育む

コアバリュー

いのち、思いやり、
絆、愛



切磋琢磨していくことが、大学全体のブランド力を高める鍵だと考えています。

人として、 生き抜くチカラを育む。

田村理事長 医療の高度化に伴い、看護師の役割はお医者さんのお手伝いからチーム医療の一員へと変わり、診療看護師などの仕事の広がりも出てきています。若者は大谷翔平選手のように、専門分野を突き詰めながらも、さまざまなことにチャレンジしたいという興味関心が尽きないのではないかと思います。本学は看護師養成を中心とし、「看護師といえば、東京医療保健大学」と言われることを大きな志としています。また、看護師という言葉だけで終わらないような、たとえばエアナースなど、社会のあらゆる場所で

看護の知識を活かせるような、広い視野を持った学びを提供すべきだと考えています。いろいろなチャレンジを支援したいですし、それが教育の役割であると信じています。

亀山学長 理事長がおっしゃる通りです。東京医療保健大学の「いのち、思いやり、絆、愛」というコアバリューをきちんと理解し、教職員は活動していく必要があります。学生たちにも、授業をはじめ、課外活動の場でもそれらを体現してもらえるといいですね。

田村理事長 ベースはやはり人間です。大学教育のベースとして、単なる資格取得だけでなく、人を知るという教養的なものが求められています。これが、私達が大学で教育を行う意義そのものです。医療従事者、とりわけ人間に関心がないと選べない職業分野で、その重要性は高いのではないかと感じています。

亀山学長 「いのち、思いやり、絆、愛」というコアバリューは、大学創設者の学園長が校歌に盛り込んだものですよね。入学式では、「大学に入る価値は、リベラルアーツを学ぶことにあり」と常にお話になっています。リベラルアーツの精神を代表する言葉ととらえてもいいと思います。

田村理事長 リベラルアーツは、専門的な知識と並行して、人間としての生き方や考え方を提示できるものです。自分が何者かを追求していくと、自然に知りたいたいことが増えてくるし、自分のやりたいことをやろうとすれば、専門的な知識が必要になってくるわけです。

亀山学長 私達は、従来からの哲学や歴史、心理学といった科目に加え、データサイエンスやSDGsなどに関する科目も、新しいリベラルアーツ教育科目として取り入れていきます。また、専門科目とリベラルアーツの区分を明確にしているのは、学生に学びの意義を伝えるためです。コアバリューにある「いのち、思いやり、絆、愛」こそが、大学としての揺るぎない志を体現しています。教育の力

を信じ、人として生き抜く力を育むことが、東京医療保健大学の大きな目的の基盤です。

量から質への転換と、 新たな挑戦。

田村理事長 看護師養成の分野では、本学に来れば何でも学べるような大学を目指していきたいですね。世田谷キャンパスでは、過去20年で一定の役割を果たした医療栄養学と医療情報学に区切りをつけ、従前の医療栄養、医療情報、臨床検査に加え、臨床工学のコースを新たに設置し、さまざまな分野の人が学べるように準備を進めています。この取り組みには、少人数でも多様なことを学べるようにする狙いがあり、将来的にはスポーツの分野を含めた5専攻も視野に入れています。

亀山学長 量から質への転換は必須ですからね。今後は、大学として自らの存在価値を高めることも重要です。先ほど理事長から多様性の話がありましたが、1人の個人の中にも複数の可能性を追求していけたらと思っています。たとえば、主専攻と副専攻を設定するなど、学生がいくつかの得意分野を持てるような工夫を進めたいですね。すでに災害看護や国際看護学といった副専攻は動いていますが、他にもスポーツ科学など学生の希望を反映した形で拡張していこうと思っています。また、実習着を統一デザインに一新するなど、目に見える形でも大学の価値向上を図り、高いレベルで成長していきたいですね。

田村理事長 そうですね。専門知識とともに、幅広い教養を身につけられる大学を、学生とともに考えながら作り上げられたらいいかなと思っています。誰もが面白そうと感じ、チャレンジできるような学びの場を提供できるといいですね。

東京医療保健大学の沿革

2004 (H16)	11.30	東京医療保健大学設置認可
2005 (H17)	4.1	東京医療保健大学 開学 東京医療保健大学医療保健学部(看護学科、医療栄養学科、医療情報学科)を設置
2007 (H19)	4.1	大学院医療保健学研究科修士課程を設置
2009 (H21)	4.1	大学院医療保健学研究科博士課程を設置
	4.1	助産学専攻科設置
2010 (H22)	4.1	東が丘看護学部看護学科を設置
	4.1	大学院看護学研究科修士課程を設置
2014 (H26)	4.1	大学院看護学研究科博士課程を設置
	4.1	東が丘看護学部看護学科を東が丘・立川看護学部看護学科に名称変更し、臨床看護学コース及び災害看護学コースを設置
2015 (H27)	12.1	開学10周年
2018 (H30)	4.1	千葉看護学部及び和歌山看護学部を設置
2020 (R2)	4.1	東が丘・立川看護学部を改組し、東が丘看護学部及び立川看護学部を設置 大学院和歌山看護学研究科修士課程を設置
2021 (R3)	4.1	大学院千葉看護学研究科修士課程を設置
2022 (R4)	4.1	和歌山助産学専攻科を設置
2024 (R6)	4.1	医療保健学部医療栄養学科に管理栄養学専攻及び臨床検査学専攻を設置
2025 (R7)	12.1	開学20周年
2026 (R8)	4.1	医療保健学部を再編し、医療保健学科(管理栄養学専攻、臨床検査学専攻、医療情報学専攻、臨床工学専攻)を設置予定

「開学20年の歩みと、未来への願い」

20年前から今日までの本学の発展は、大変目覚ましいものがあったと感じております。設立当初は、4年制大学で看護学を究めたいと考え、準備を進めました。その時期は、医学の発展とそれに伴う医療の高度化・複雑化、そして医療に従事する看護職に大きな変革が求められていた時代とちょうど重なっており、時代の要請に応える出発であったと感じています。

東京医療保健大学の出発点は、入学定員280人でした。それが20年後の今日、学部への入学定員は680名にまで拡大しました。開学から4年が経過した時点と現在とを比べても、大学・大学院に在籍する学生数の増加から、この20年間の発展がいかに大きなものであったかがうかがえます。

教育内容に関しては、当初から看護職に対する高度な社会的要請に応えられる体制を整えることを構想しており、大学設立と同時に、2年後には大学院を設置することを決め

ていました。さらに、修士課程・博士課程の設置を視野に入れ、その実現によって、変化に富んだ発展的な看護職に対する社会の要請に応えようとして準備を進めてまいりました。近年では、看護職の大きな変化とともに、いわゆるコメディカル職種に対する社会的要請も、複雑化・高度化・多様化しています。こうした状況に対応するため、それらの職種を目指す人材育成にも取り組み、本来目指す看護職の高度化・複雑化をより確かなものとする目的で、コメディカル系の学部を併設しています。

大学として社会に対する理念を明確にするため、開学当初に校歌を制定しました。校歌は「いのち」「思いやり」「絆」「愛」の4つのキーワードを軸に作られています。この精神を身につけ、これから社会が求める医療に誠実に応えていくための指針としてほしいと考えています。

本学の特徴的な取り組みと成果は、当初から

目指していた大学・大学院を備えた高等教育体制を実現できた点にあると考えております。本学および大学院に関わる方々には、この教育体制を十分に活用し、社会の要請や期待に応えていただきたいと願っています。

二十周年を迎え、この考え方をさらに発展・充実させ、日本、そして世界の人々に貢献する機関へと成長することを願っております。私自身も90歳を迎えましたが、学園長として、設立当初の情熱を絶やすことなく、できる限りの支援を続けていきたいと考えています。

学校法人青葉学園
東京医療保健大学
学園長

田村 哲夫



学報「KOKORO」 オリジナルキャラクター 決定

最優秀賞

Toppy (トッピー)



東京医療保健大学にやってきた、
幸せを運ぶ鳥『Toppy』
この子が笑うとみんなが笑顔になります。
ほっぺがハートになったら幸せの印！
今日もみんなに幸せを届けに行くよ。

モチーフやこだわりポイント

東京医療保健大学のエンブレムをモチーフにしました。幸せの象徴である鳥を採用し、多様性をカラフルな体で表現しました。トッピーという名前は、(give)to peopleのオマージュです。人々に幸せを与えられるような存在になればという願いを込めて、トッピーと名付けました。背を向けると翼がエンブレムになります。デフォルトで身につけているピンクのバンダナは、優しさと親しみやすさの意味がこもっています。

受賞理由

作者のコンセプトを高く評価しました。癖の強すぎないデザインで、四肢のある動物モチーフのため複数ポーズ展開がやすく、紙面やSNSでの汎用性が期待できます。大学カラーを基調に学部・学科カラーを幅広く取り入れ、多様性と本学らしさを表現。ロゴ入りで目でTHCUと分かる点も好評でした。

正面



ハート
ver



受賞者コメント



医療保健学部 医療栄養学科
管理栄養学専攻 2年生
須藤 智恵梨さん



医療保健学部 医療栄養学科
管理栄養学専攻 2年生
西岡 絆さん

受賞について

■ 最優秀賞を受賞した感想を教えてください。

西岡 最優秀賞をいただけてとても光栄です。楽しみながら作ったキャラクターを評価していただけたことが本当に嬉しいです。これからこの子が色々な場面で活躍するのを楽しみにしています。

須藤 自分たちが考えたキャラクターが、学校のオリジナルキャラクターとして採用されたことが、まだ信じられない気持ちです。創作の過程では、この子の性格や特徴を話し合いながら、どんどん愛着がわいてきました。「どんな場面で活躍するかな?」「こんなグッズがあったらいいね」など、夢を膨らませながら作った時間はとても楽しかったです。これから、この子が学校のいろいろな場面で登場するとおもうと、すごく楽しみです。

■ 受賞が決まったときの第一報を聞いたときの気持ちは?

西岡 もうひらすら驚きと喜びでした。受賞決定メールを見た瞬間ちえちゃんに連絡しました。二人とも大盛り上がりで、喜びを共有できた瞬間は忘れないと思います。

須藤 メール見たときはほんとうに嬉しさと驚きで思わず声を出してしまいました笑 メールと同時にきずなから連絡来ていて、一緒にやってくれてありがとうね!って伝えましたね。離れていたけど二人で大はしゃぎして。あの瞬間は今でも忘れられません。

■ 二人での制作区分はどのように分けましたか?

原案、応募様式の記入は須藤が担当し、イラスト制作は西岡が行いました。デザインについては、須藤が出した案をベースに、西岡が色付けやアレンジを加える形で仕上げています。キャラクター名やコンセプト・デザインの方向性などは二人でアイデアを出し合いながら決めていきました。

キャラクターの魅力

■ どのような点が、特に評価されたと思いますか?

キャラクターの親しみやすさと、誰が見ても「東京医療保健大学のゆるキャラ」とわかる分かりやすいデザイン性を評価していただけたのではないかと思います。学生にも教職員の方にも気軽に愛される存在になるよう、シンプルで覚えやすい形にした点も良かったのかもしれません。

■ このキャラクターを作る際に一番力を入れた部分はどこですか?

印象に残ること、かわいらしいデザインにすることです。ゆるキャラということで、見た人の印象に残るように意識して考えました。本校を象徴するキャラクターということもあり、誰にでも愛されるような親しみやすいデザインにこだわりました。頬がハートの形になる点も大きなこだわりで、医療系大学としての暖かい印象を意識して仕上げました。

創作プロセス

■ キャラクターを作成する上で、最も難しかった部分はどこですか?

キャラクターを作成する上で一番難しかったのは、名前を決めることでした。本校を象徴する存在になるので、覚えやすさや親しみやすさ、キャラクターの雰囲気との相性など、色々な要素を考えて何度も話し合いました。ふと、声に出して呼んだトッピーが凄くしっくりきて、これだー!って二人で決めました。最終的に「この子らしい!」と思える名前になってよかったです。

■ 創作のアイデアはどのようにして思いついたのですか?

創作のアイデアは、まず「かわいい子にしたいよね」という共通のイメージから始まりました。その後、いろんな既存のゆるキャラを参考にしながら、ヒトや犬など「かわいさ」を軸に案を書き出していきました。モチーフや色・形の意味の一つひとつ考え、意見を出し合って組み合わせるうちに、少しずつ今のキャラクターの姿が見えてきました。色や形に意味を持たせることで、学校らしさ、キャラクターらしさを表現することも大切にしました。「こうしたらもっとこの学校らしくなるかも」という気づきが出てくるたびに盛り上がり、楽しく作り上げていった感じです。



優秀賞



ホケハート

医療保健学部
看護学科 4年生
中野 紫苑さん



トクトク
(ThocuThocu)

医療保健学部
看護学科 教授
廣島 麻場さん



開学20周年を機に 振り返る 同窓会の歩みと展望

東京医療保健大学
同窓会 会長
浅香 樹さん
医療保健学部 医療栄養学科
2014年3月卒業
(東京医療保健大学 事務職員)

本学が開学20周年という記念すべき節目を迎えられましたことを、同窓会を代表し、心よりお祝い申し上げます。開学以来、本学は社会の要請に応えながら教育・研究の充実に取り組み、時代とともに歩みを進め、多くの卒業生を社会へ送り出してこられました。その確かな歩みは、理事長、学長をはじめ、教職員並びに関係者の皆様のご尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

同窓会は、卒業生相互の交流を促進するとともに、母校との継続的なつながりを大切に育むことを目的として活動を続けてまいりました。卒業後も本学との縁を感じられる場を提供することは、同窓会に課せられた重要

な役割であると考えております。その一環として、近年は活動基盤の安定化に注力し、2024年度卒業生より終身会費を大学による代理徴収制へと移行しました。これにより、任意入金に伴う不安定さを解消し、毎年600万円以上の会費を安定的に確保できる体制が整いました。

さらに、この同窓会費を財源として、各部署における卒業生関連活動の活性化を目的とした助成制度を新たに設け、各学科に対し年間40万円を上限とする支援を行っております。2024年度は多くの部局に助成を行い、延べ200名を超える卒業生に対し活動の成果を還元することができました。2025年度に

においても、各部署よりこれを上回る活動助成申請が寄せられており、同窓生と大学との結び付きが着実に広がっていることを実感しております。

20年という歩みは、本学の歴史において重要な礎であると同時に、さらなる発展への新たな出発点でもあります。同窓会といたしましても、大学と卒業生を結ぶ架け橋としての役割を果たしつつ、本学の更なる飛躍を支えてまいりたいと存じます。本学が今後ますます社会に貢献されることを心より祈念し、開学20周年のお祝いの言葉といたします。

同窓会のあゆみ

卒業生と母校をつなぐ歩み

東京医療保健大学同窓会は、卒業生同士のつながりを育み、母校との縁を次代へつなぐことを目的に活動を続けてきました。設立当初は、名簿整備などの基盤づくりを中心とした取り組みから始まり、次第に交流事業や大学との連携へと活動の幅を広げてきました。現体制となってから総会を年1回実施する他、会費制度の見直しを契機に運営基盤を強化し、各キャンパスにおける学科での卒業生関連活動を後押しする助成制度も開始しています。節目を重ねながら着実に歩んできたこの歩みは、同窓会の大きな財産です。



同窓会理事会中心メンバー

東京医療保健大学同窓会の概要

2009年
設立
1期生卒業と
ともに設立

正会員数
約8,200名
(2026年現在)

同窓会の主な事業内容

【会員名簿の管理】

事務局において会員情報を常時更新し管理しています。氏名や住所等に変更が生じた際は、同窓会事務局までご連絡ください。大学HPまたは下記二次元コードで登録内容を変更ください。

【大学情報の発信】

東京医療保健大学の最新情報や同窓会活動等について各種媒体を通じて同窓生に対し情報発信しています。

【総会の開催】

会の運営に関する様々なことを決める為に、年1回の総会を開催しています。近年は対面とオンライン併用のハイブリッド開催をしておりますので、是非ご参加ください。



証明書発行について

卒業後の“卒業証明書”“成績証明書”の発行については、学外証明書発行システムをご利用ください。お近くのコンビニエンスストアで受取りが可能になりました。その他の証明書は各事務部にお問い合わせください。



住所変更等について

大学からご案内する各種郵送物等の受取の為に、住所の変更や、氏名の変更等があった場合は、大学にお届けください。



【同窓会組織概念図】

総会 東京医療保健大学同窓会の最高議決機関であり、定期総会が年1回行われます。

承認可否 議案提出

理事会 同窓会の事業を執行します。総会で選任された役員による会議を定期的に行います。

事務局 同窓会活動の各種運営支援や、案内の発送等の情報発信を行います。

告知・報告 意見の集約

同窓生の皆さん



同窓会エンブレム ~エンブレム由来~

同窓会の組織の在り方は、母校と卒業生をつなぐことであり、それぞれ“港”と“船”、同窓会を“灯台”とイメージした。(灯台の部分の逆さに見ると「THCU」となっている)

大学公式SNSについて

東京医療保健大学ではInstagramを始めとした各種SNSで大学の情報を発信しています。大学のニュースや各学科等の取り組みを紹介していますので、ぜひフォローいただき大学を応援ください。



各種広報媒体について

学報ところを始めとし、大学で作成している各種広報媒体は、大学HPでバックナンバーを公開しております。是非ご一読ください。



同窓生に係る活動助成制度

東京医療保健大学同窓会では、令和6年度より、同窓生を対象とした各種活動を支援する助成制度を開始しました。本制度は、学内の教職員が主企画者となり実施する、同窓生の交流促進や学びの機会創出を目的とした取り組みを支援するものです。親睦会や講演会、情報発信等が対象となり、各学科年度40万円(大学全体で280万円)を上限に助成を行っています。卒業生の皆様におかれましては、活動のアイデアがあればぜひ教職員へお寄せください。また、大学から案内される関連イベントには積極的にご参加いただき、母校とのつながりを今後も深めていただければ幸いです。



2025年度に助成を活用して実施された医療栄養学科ホームカミングデー

・開学20周年に寄せて・

後援会 会長挨拶



後援会会長
佐原 利明

東京医療保健大学が、2025年12月1日に開学20周年という輝かしい節目の年を迎えられますことを、在学生の保護者を代表いたします後援会といたしまして、心よりお祝い申し上げます。

2005年の開学以来、貴学が「医療保健」の高度専門職業人の育成という崇高な理念のもと、常に時代のニーズに応え、深い専門性と豊かな倫理観を兼ね備えた幾多の優れた人材を社会に輩出してこられました歴史に、深く敬意を表します。

この輝かしい20年の歩みは、ひとえに、田村哲夫学園長、田村聡明理事長、並びに歴代の学長先生をはじめとする教職員の皆様の、学生たちへの温かくも厳格なご指導と、大学運営へのたゆまぬご尽力の賜物と、保護者一同、心より感謝申し上げます。

私どもの子どもたちは、日々進歩する医療技術と、複雑化する社会の中で、高度な知識と技術、そして何よりも豊かな人間性が求められる「医療保健の道」を目指し、真摯に研鑽

を積んでおります。その姿を頼もしく見守る一方で、時に厳しさも伴う学業に、保護者として心を寄せる日々でもあります。しかし、そうした学生一人ひとりを力強く導き、その成長を温かく支えてくださる先生方と、充実した教育環境に対しまして、大きな信頼と安心感を抱いております。

私ども後援会も、大学の建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」と「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に深く共感し、学生たちが安心して学業に専念し、実り豊かなキャンパスライフを送れますよう、保護者の立場から微力ながらも支援を続けてまいり所存です。

結びに、東京医療保健大学の今後ますますのご発展と、輝かしい未来を担う学生たち、そして大学関係者の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

学友会 会長挨拶



学友会会長 医療保健学部医療情報学科 3年

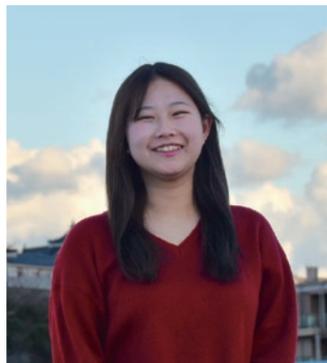
井筒 太陽

東京医療保健大学は、開学20周年という大きな節目を迎えました。これまで本学を支えてこられた教職員の皆さま、地域の方々、そして卒業生の先輩方に、学友会を代表して心より感謝申し上げます。

本号では、学生の創意と協力によって誕生した「ゆるキャラ制作プロジェクト」が特集されています。学生のアイデアが形となり、新たな大

学の象徴が生まれたことは、大きな喜びであり誇りです。

学友会では、大学行事やサークル活動を通して、学生一人ひとりが充実した学生生活を送れるよう努めてまいりました。20周年を新たな出発点として、これからも学生の声を大切にし、挑戦できる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。



学友会和歌山支部会長 和歌山看護学部看護学科 2年

平 幸奈

開学から20年という歩みの中で、先輩方が築いてこられた活気ある学園の伝統を受け継ぎ、学友会の一員として活動できることを誇りに感じています。大学生活では、講義や実習を通して専門的な知識や技術を学ぶだけでなく、学友会活動を通して多くの人と関わり、意見を調整しながら物事を進める力を培ってきました。学生同士はもちろん、教職員の方々との連携を大切にし、学生生活を支える役割に大きなやりがい

を感じています。学友会は、学生一人ひとりの声を形にし、安心して過ごせる学生生活を支える大切な存在であると考えています。活動を通して、立場や考え方の異なる意見を尊重し、対話を重ねながら最善の方法を見出すことの重要性を学びました。今後はこれまでの経験を生かし、周囲と協力しながら学生の声に丁寧に耳を傾け、より充実した学生生活の実現に向けて主体的に取り組んでまいります。

未来の医療を育てる、 あたたかなご支援を



東京医療保健大学は、2005年の開学以来、医療・保健分野で活躍する人材の育成に力を注いできました。

2025年、開学20周年という節目を迎えることができましたのも、地域の皆さま、卒業生、関係機関の皆さまからの温かいご支援とご理解の賜物です。心より御礼申し上げます。

本学では、教育・研究活動のさらなる充実を図るため、皆さまからのご支援をお願いしております。

ご寄附は、主に奨学寄附金と品川区ふるさと納税の二つの方法でご寄せいただくことができます。

奨学寄附金（本学への直接寄附）

奨学寄附金は、本学の教育・研究活動の充実を目的として受け入れている寄附金です。

皆さまからお寄せいただいたご寄附は、大学および大学院における教育研究に必要な機器・器材の整備をはじめ、教育研究活動全般に活用させていただいております。

学生が専門性を高め、医療現場や地域社会で求められる力を身につけていくためには、継続的な学修環境の充実が欠かせません。奨学寄附金は、その基盤を支える大切なご支援となっています。

品川区ふるさと納税（しながわ団体応援寄附）

本学は、品川区が実施するしながわ団体応援寄附（ふるさと納税）の対象団体です。

この制度を通じてご寄附いただくことで、地域と大学が連携しながら、人材育成や教育環境の充実を支える仕組みに参加いただくことができます。制度の詳細やお手続きについては、品川区および本学公式ウェブサイトにてご案内しております。（4月～12月が寄附受付期間です。）

開学からの20年は、多くの皆さまとともに歩んできた歴史です。

そして次の20年も、本学は医療・保健分野の未来を見据え、社会に求められる人材を育成し続けてまいります。

皆さまからの温かなご支援は、その歩みを支え、未来へとつながっていきます。本学の理念と取り組みにご賛同いただき、引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ご寄附の詳細はこちら



奨学寄附金



品川区ふるさと納税